

平成 30 年度  
事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本補助犬協会

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」開催まで2年となり、”世界が注目するこの一大行事を契機に、国を挙げて「世界に誇れるようなユニバーサルデザイン社会を創設」し、それを東京オリンピック・パラリンピックの「レガシー(遺産)」としよう」という国家プロジェクトが佳境に入ってきている。

そのような状況の中で、当協会は、内閣官房をはじめ、各省庁および団体との協議会や検討会に参加するなどして、補助犬の啓発活動を通じて誰もが障害について関心を持ち、深く理解する共生社会の実現を目指して、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会・大阪万博に向けた補助犬受け入れ体制の確立などに取り組んでいる。

具体的には、本年度“共生社会、補助犬受け入れ拒否ゼロ”を目指して「第6回もっと知って補助犬キャンペーン」を実施した。当協会では、2012年以来このキャンペーンを開催している。それは、補助犬を同伴した身体障害者のアクセス権を保証した身体障害者補助犬法が2002年に成立してから10年以上経つにも関わらず、補助犬についての社会の認知は低いいままであり、公共交通機関をはじめ、店舗、宿泊施設などにおける補助犬の受け入れ拒否が後を絶たなかったからである。その後、補助犬業界全体の地道な啓発活動により補助犬の認知は徐々にではあるものの向上しているが、さらなる活動の継続・強化が必要である。

第6回となる今回のキャンペーンのコアイベント「“誰一人取り残されない社会”への提案」と題したフォーラムでは、「心のバリアフリー検定」と「補助犬シンポジウム」開催したほか、企業・団体、学校、市民それぞれに向けたきめ細かなキャンペーンを展開した。

取り分け、新たに実施した「心のバリアフリー検定」と経済界と共に実施した「補助犬フォーラム2019」は、内閣官房オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会推進本部により高い評価を受け、国が共生社会実現の指針として発表した「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」好事例として認定され、内閣官房のホームページに公表されたことは特筆に値する。

([http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/ud2020kkkaigi/hyouka02/sankou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/ud2020kkkaigi/hyouka02/sankou2.pdf))

このほか、法務省少年矯正局の依頼により実施した中等少年院・市原学院での心のバリアフリー授業など、補助犬の育成・貸与・認定、補助犬の普及啓発等に関する様々な事業に取り組んだ。

なお、本年度は、協会の運営上の課題を解決するため、情報セキュリティ向上を主眼とする社内情報システムの抜本的対策を講ずるとともに、組織の活性化・新規事業の推進を図るためプロフェッショナル人材を採用した。

## ◆ 公益事業実施状況

### 補助犬育成・貸与・認定事業

#### 1. 補助犬(及び候補犬)の育成・認定及び貸与

次のとおり、補助犬(及び候補犬)の育成・認定及び貸与を行った。

##### 1) 当協会が育成・認定した補助犬

盲導犬 4頭(山梨2頭、神奈川2頭)

聴導犬 3頭(東京2頭、神奈川1頭)

##### 2) 他団体が育成した補助犬

介助犬 1頭(奈良)

聴導犬 1頭(神奈川)

### 3) 身体障害者補助犬認定審査会開催状況

次のとおり3回開催した。

平成 30 年 8 月 27 日 認定頭数 1 頭 (聴導犬 1 頭)

平成 31 年 3 月 17 日 認定頭数 3 頭 (聴導犬 3 頭)

平成 31 年 3 月 24 日 認定頭数 1 頭 (介助犬 1 頭)

## 2. 補助犬ユーザー(使用者)に対するフォローアップ

補助犬ユーザーと補助犬の生活の質及び補助犬作業の質の向上を図るため、次のとおりフォローアップ及び研修会を行った。

### 1) フォローアップ

#### ・ 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ

来所・訪問 12 人 延べ 28 日

電話・メール 15 人 54 回

#### ・ 介助犬ユーザーに対するフォローアップ

来所・訪問 10 人 延べ 19 日

電話・メール 12 人 43 回

#### ・ 聴導犬ユーザーに対するフォローアップ

来所・訪問 15 人 延べ 25 日

メール 30 人 45 回

### 2) ユーザー研修会の開催

開催日 11 月 10 日～11 日

参加者数 ユーザー 8 名(補助犬 8 頭)、家族・ボランティア 10 名(引退犬 3 頭)

内 容 フードメーカーの協力による犬の栄養学の講義

健康管理に関する情報提供

犬をコントロールするための基本の復習

基本訓練その他の作業動作の正確性、確実性を高めるための実技講習

## 3. 補助犬候補犬の購入並びに繁殖、関連事項

### 1) 補助犬候補犬、繁殖犬導入に向けた交渉

姉妹校提携を結んでいる海外の盲導犬協会と、補助犬候補犬・繁殖犬の安定的かつ円滑な導入を図るための新たな契約を結ぶ交渉を行った。

### 2) 聴導犬候補犬確保のための自家繁殖および他団体からの導入

#### <自家繁殖>

自家繁殖を 1 回行い、2 頭のパピーを確保した(内 1 頭は他団体へ提供)。

#### <導入>

国内の補助犬育成団体より 2 頭のパピーを導入した。

## 4. パピーの育成

将来補助犬になり得る仔犬の飼育をパピーファミリー(仔犬飼育ボランティア)に委託した。また、「社会化」と「月齢に応じたきめ細かいしつけ方」についてパピーの発達段階毎のサポートを行った。

- ・ 委託状況  
3 頭（トイ・プードル 1 頭、スタンダード・プードル 1 頭、イングリッシュ・コッカー・スパニエル 1 頭）
- ・ サポート方法  
電話、メール、しつけ教室の開催、訪問等
 

電話・メール相談	72 回
しつけ教室の開催	12 回
訪問	1 回

## 5. 引退犬の支援

協会医療室にて引退犬の健康管理をサポートすると同時に引退犬ボランティアに対して老犬に対する飼育相談等を行った。

- ・ 医療室の利用 11 件
- ・ 訪問 3 回
- ・ 電話・メール相談 42 回

## 6. 職員の養成

訓練士等に対し、日々の OJT とともに月 2 回の手話教室や補助犬ガイド士の受講、他団体との人材交流により技術、知識の向上を図った。

## 補助犬啓発関係

### 1. 「第 6 回もっと知って補助犬キャンペーン」

補助犬ユーザー団体、各種企業・団体の協力のもと、次のイベントを開催し、補助犬の認知度向上に努めた。

- ・ 期 間 平成 30 年 12 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- ・ テーマ 補助犬と共に社会参加するということ  
～「誰一人取り残されない社会」への提案～

#### 1) 第 3 回「補助犬フォーラム」開催

日時 平成 31 年 2 月 15 日

場所 衆議院第一議員会館 国際会議室

内容 プログラム 1 「心のバリアフリー検定」

プログラム 2 「補助犬シンポジウム」

基調講演 「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」政府の取り組み

内閣官房オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会推進本部

第一部 補助犬の育成現場から

第二部 補助犬ユーザーの立場から

第三部 パネルディスカッション

「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」加速化への取り組み

プログラム 3 「障害体験」ワークショップ

#### 2) 『補助犬ガイド士養成講座』初級「心のバリアフリー検定」の実施

共生社会の実現を図るため、次のとおり「心のバリアフリー検定」を実施した。

- ・ 実施日 平成 30 年 12 月 14 日  
会 場 衆議院議員会館  
合格者 48名
- ・ 実施日 平成 31 年 1 月 24 日  
実施イベント 電通共済「心のバリアフリー検定」  
会 場 全電通労働会館 2 階ホール  
合格者 148名
- ・ 実施日 平成 31 年 2 月 4 日  
実施イベント 補助犬フレンズの会  
会 場 六本木ヒルズ ヒルズクラブ合格者 47名
- ・ 実施日 平成 31 年 2 月 15 日  
会 場 衆議院第一議員会館  
合格者 26名

3) 学校における補助犬介在授業の実施

次のとおり、オリンピック・パラリンピック推進教育及び「心のバリアフリー」普及を目的とした補助犬介在授業を実施した。

- ・ 愛国学園(平成 30 年 12 月 4 日)
- ・ 豊島区立高南小学校(平成 31 年 2 月 7 日)
- ・ 豊島区立池袋第三小学校(平成 31 年 2 月 23 日)
- ・ 台東区立田原幼稚園(平成 31 年 3 月 6 日)
- ・ 品川区立延山小学校(平成 31 年 3 月 12 日)
- ・ 府中市立浅間中学校(平成 31 年 3 月 18 日)

4) 一般市民に対する啓発活動

次のイベント及び会場において、補助犬に関するデモンストレーションを行った。

- ・ 豊島区ふくしまつり(平成 30 年 12 月 1 日)
- ・ 墨田区スマイルフェスタ(平成 30 年 12 月 8 日)
- ・ 神奈川県人権メッセージ展(平成 30 年 12 月 9 日)
- ・ 京急百貨店(平成 31 年 3 月 23 日)

5) 障害当事者の活用促進に向けた活動

障害当事者講師の養成を目的に、延べ15名の補助犬ユーザーに「心のバリアフリー検定」を受講していただいた。

実施日 12 月 14 日、2 月 15 日

結 果 全員が検定に合格した

6) 障害者の社会参加促進に向けた協力

横浜市健康福祉局動物愛護センター主催「耳の不自由な方のための犬のしつけ教室」に講師を派遣した。

7) 緊急・災害時の支援体制のあり方の周知

「避難所における補助犬の受け入れ方」をテーマに次のとおり講演を行った。

- ・ 実施日 平成 31 年 3 月 2 日  
会場 習志野市役所  
イベント名 もっと知って!!補助犬セミナー

- ・ 実施日 平成 31 年 3 月 7 日  
会場 横浜市旭区役所  
イベント名 平成 30 年度旭区防災講演会
- ・ 実施日 平成 31 年 3 月 10 日  
会場 藤沢市役所  
イベント名 知ることで心豊かに～人権と補助犬の活動のお話～

#### 8) SDGs 実施指針に基づいた活動

SDGs 実施指針に基づき、あらゆる人々の活躍を推進するための次の活動を行った。

- ・ 実施日 平成 31 年 3 月 11 日  
会場 大塚商会本社 3 階会議室  
内容 心のバリアフリー研修の実施
- ・ 実施日 平成 31 年 3 月 23 日  
会場 京急百貨店  
内容 バリアフリーの検証

#### 2. 「補助犬受け入れセミナー」及び「心のバリアフリーセミナー」の開催

次の2社の要請によりセミナーを開催した

- ・ 企業名 株式会社電通  
開催日 平成 30 年 9 月 14 日  
受講者 250名
- ・ 企業名 株式会社大塚商会【再掲】  
開催日 平成 31 年 3 月 11 日  
受講者 60名

#### 3. 「補助犬ガイド士養成講座」の開催・検定の実施【再掲】

「補助犬ガイド士検定」の初級に位置づけている「心のバリアフリー検定」を4回実施した。

- ・ 実施日 平成 30 年 12 月 14 日  
会 場 衆議院議員会館  
合格者 48名
- ・ 実施日 平成 31 年 1 月 24 日  
実施イベント 電通共済「心のバリアフリー検定」  
会 場 全電通労働会館 2 階ホール  
合格者 148名
- ・ 実施日 平成 31 年 2 月 4 日  
実施イベント 補助犬フレンズの会  
会 場 六本木ヒルズ ヒルズクラブ  
合格者 47名
- ・ 実施日 平成 31 年 2 月 15 日  
会 場 衆議院第一議員会館  
合格者 26名

#### 4. パンフレット・会報の作成・配布

当協会の組織概要・事業実施状況等に関する情報を発信することにより知名度の向上、支援者の発掘等を図るためパンフレット等を作成・配布した。

- ・ パンフレットの作成・配布

当協会のサポーター制度・寄付金の使途等に関するパンフレットを作成しイベント等で配布した。

- ・ 会報の作成・配布

当協会の活動状況等について報告することにより、賛助会員及び募金箱設置の継続率向上、ひいては運営費の安定供給を図るため、会報「にっぽけん通信」第18号を7,000部作成し、賛助会員、募金箱設置店、協力企業・団体に送付した。

#### 5. ホームページ・フェイスブックの充実・活用

- ・ ホームページ

より分かりやすく補助犬及び当協会の情報発信を行うためコンテンツを全面的にリニューアルした。

- ・ フェイスブック

より身近な存在として補助犬を理解してもらえるよう、当協会のイベント等の活動や訓練センターにいる候補犬たちの日常の様子をアップするなど、コンテンツの充実に努めた。

#### 6. 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた補助犬受入体制の確立推進

##### 1) 障害当事者講師の養成【再掲】

「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」の指針に則って、当事者講師となる補助犬ユーザーの養成を開始した。

日 時 12月14日、2月15日

参加者 延べ15名

内 容 「心のバリアフリー検定」受講

※ 全員が合格した。

##### 2) 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での補助犬を同伴した人及び補助犬の支援を目的としたガイドライン」の作成

東京都医師会、東京都獣医師会と連携し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた補助犬ユーザー及び補助犬の救急時の対応等に関するガイドラインの作成に着手した。

##### 3) 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業への参画

当事業のプログラムの一環として、次の31校の学校で「ほじょ犬セミナー」を実施した。

- ・ 実施期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

- ・ 実施校

江東区立もみじ幼稚園、品川区立後地小学校、東京都立科学技術高校、品川区立京陽小学校、江東区立大島幼稚園、町田市立町田第一小学校、八王子市立清水小学校、墨田区立第三吾嬬小学校、品川区立御殿山幼稚園、東村山市立野火止小学校、町田市立小山田南小学校、杉並区立杉並第三小学校、目黒区立油面小学校、板橋区立赤塚第一中学校、品川区立八潮学園、墨田区立中和小学校、江東区立ちどり幼稚園、府中市立府中第九小学校、

江戸川区立大杉第二小学校、台東区立東浅草小学校、北区立田端小学校、大田区立都南小学校、中央区立月島第一小学校、品川区立第四日野小学校、大田区立矢口西小学校、日野市立日野第一中学校、葛飾区立奥戸小学校、豊島区立目白小学校、台東区立石浜橋場こども園、豊島区立池袋幼稚園、葛飾区立梅田小学校、

#### 4) 国の取組みへの協力

朴代表理事が、国の要請により評価会議、検討会等に参画し、国の施策の評価・マニュアル作成等に貢献している。

- ・ 内閣官房「ユニバーサルデザイン 2020 評価会議」
- ・ 国土交通省「交通事業者向け接遇プログラム作成等のための検討会議」
- ・ 国土交通省・東京都「東京都内の道路におけるバリアフリー化推進に関するヒヤリング」
- ・ 農林水産省「ユニバーサルデザイン 2020 外食産業における接遇マニュアル作成検討会」
- ・ 新国立競技場整備事業「ユニバーサルワークショップ」

#### 7. 共生社会の実現への取り組み

法務省「少年院における動物介在活動に関するガイドライン」策定外部アドバイザーとして、市原学園にて補助犬介在授業および心のバリアフリー授業を実施した。

- ・ 第1回 テーマ「身体障害者補助犬」  
実施日 2019年1月15日  
受講者 20名
- ・ 第2回 テーマ「目が不自由ということ」  
実施日 2019年1月22日  
受講者 20名
- ・ 第3回 テーマ「耳が不自由ということ」  
実施日 2019年1月29日  
受講者 20名
- ・ 第4回 テーマ「肢体が不自由ということ」  
実施日 2019年2月12日  
受講者 20名
- ・ 第5回 テーマ「心のバリアフリー検定」  
実施日 2019年2月26日  
受講者 20名

#### 子供の情操教育活動

東日本大震災被災地の小・中学校を中心に、他者に対する労り教育を、ユーザーと補助犬の関係性を通して実践した。

- ・ 方法 東北地方の介助犬ユーザー、ボランティアが中心となりスタッフとともに学校を訪問して実施。
- ・ 実施回数 介助犬ユーザー3人×9ヶ所



・ 実施場所及び実施日

八幡平市大更コミュニティーセンター(平成 30 年 7 月 31 日)、  
盛岡市立本宮小学校(平成 30 年 8 月 31 日)、  
ふれあいランド岩手(平成 30 年 9 月 2 日)、  
盛岡福祉センター(平成 30 年 9 月 9 日)、  
ふれあいランド岩手(平成 30 年 9 月 10 日)、  
盛岡市立山岸小学校(平成 30 年 9 月 21 日)、  
馬っこパーク岩手(平成 30 年 9 月 23 日)  
盛岡南イオンモール(平成 30 年 11 月 11 日)  
盛岡市立都南東小学校(平成 30 年 12 月 5 日)

◆ 収益事業実施状況

商品販売事業

1. 補助犬チャリティー商品の制作・販売

ボランティアの協力を得て補助犬チャリティー商品を制作し、イベント等で販売した。  
売上金額 1,782,618 円

2. 自動販売機設置

訓練センターに設置した自動販売機の売り上げに対する手数料収入及び募金型自動販売機からの収入を得た。  
収入金額 12,790 円

◆ その他

運営上の課題解決に向けた取り組み

外部のプロフェッショナル人材を採用し、情報セキュリティ向上を主眼とする社内情報システムの抜本的対策を講ずるとともに、組織の活性化・円滑な運営を推進するため幹部会を設けた。

1. 幹部会の設置・開催

組織活性化・円滑な組織運営を推進するため経営会議を 7 回開催した。

・開催日 平成 30 年 11 月 24 日、平成 30 年 12 月 20 日、平成 31 年 1 月 10 日、  
平成 31 年 2 月 5 日、平成 31 年 2 月 20 日、平成 31 年 3 月 7 日、  
平成 31 年 3 月 19 日

2. 情報システム対策の実施

情報セキュリティ向上を主眼とする情報システムの対策を講じるとともに、会員のデータベースを一新し、会員管理に関する業務の向上を目指す会員管理システムの導入に向けた取り組みを行った。

【参考】

◇ 理事会開催状況

開催年月日	主な決議事項
平成 30 年 6 月 5 日	平成 29 年度事業報告及び収支決算書の承認について 評議員外部委員選任について 任期満了に伴う次期役員候補について 定款変更について
平成 30 年 6 月 19 日	代表理事選任について
平成 30 年 10 月 26 日	平成 29 年度収支決算書訂正について
平成 30 年 11 月 16 日	特定費用準備金等取扱について
平成 31 年 3 月 26 日	2019 年次事業計画書及び収支予算書の承認について

◇ 評議員会開催状況

開催年月日	主な決議事項
平成 30 年 6 月 19 日	平成 29 年度事業報告及び収支決算書承認について 理事及び監事の選任について 定款変更について
平成 30 年 10 月 26 日	平成 29 年度収支決算書訂正について

◇ 賛助会員の状況

(単位 人)

区分	平成30年3月31日現在	増	減	平成31年3月31日現在
一般会員	369	25	68	324
特別会員	271	28	21	278
法人会員	8	6	0	14
計	748	53	89	616

◇ 募金箱設置状況

(単位 か所)

平成30年3月31日現在	増	減	平成31年3月31日現在
1,349	19	18	1,350

◇ 職員に関する事項

平成31年3月31日現在職員在籍状況(理事を含む)

(単位 人)

部署	職種	常勤			非常勤			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
管理部門	総務・経理	0	2	2	1	0	1	1	2	3
補助犬育成・ 訓練部門	指導員	0	2	2	0	0	0	0	2	2
	訓練士	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	その他	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	獣医師・トリマー	0	0	0	1	1	2	1	1	2
企画推進部門	企画・事業推進	0	1	1	2	0	2	2	1	3
普及啓発部門	広報・啓発	0	1	1	1	0	1	1	1	2
計		1	7	8	5	1	6	6	8	14

◇ 施設の状況

1) 所在地

横浜市旭区矢指町 1954 番地 1～2

2) 敷地面積 (単位 m<sup>2</sup>)

訓練センター	955.64
認定試験センター	498.50
計	1454.14

3) 建物

(単位 m<sup>2</sup>)

区分	構造	延床面積	主な施設
訓練センター	木造 2 階建て	497.70	事務室、ミーティングルーム、ケネル、ブリーディングルーム、グルーミングルーム。共同訓練用居室(4室)、食堂、厨房、浴室、多目的ルーム
認定試験センター	木造平屋建て	188.79	犬用医療室、グルーミングルーム、多目的ルーム